

Drug Information News

～ 2025年10月号～

熊本総合病院 薬剤部 広報誌 DI室 上淵・濱田・大岡

【CONTENT】

- ✓ 今月のトピックス（認定褥瘡薬剤師について）
- ✓ Drug Safety Update No.339（2025,9月発行）抜粋

【認定褥瘡薬剤師が新たに誕生！】

当院薬剤部は様々な認定・専門薬剤師が在籍しており、それぞれが各分野において積極的介入を行っていますが、その活動は院内だけに留まらず、熊本県薬剤師会の講師バンク（薬剤師のかかりつけ機能の強化及び専門性の向上に資する知識・技能の習得、能力の維持・向上を目的とした研修会を熊本県全域で実施できるよう、各専門分野に精通している薬剤師が登録されている）在籍、各専門学会での発表、論文報告、研修会講師や執筆依頼など、お世辞抜きでも**屈指の強者**が揃っております。

今後、色んな分野の専門認定についても紹介していこうと思っておりますが、その先駆けとして今回は今年9月に**岩崎薬剤師が認定褥瘡薬剤師を取得**したのでその報告を。

この資格は褥瘡の予防、医療を実施するための適切な知識・技術を有するものに与えられる日本褥瘡学会の認定資格で、現在取得している薬剤師は**全国でも142名**(2024年9月時点)、かつ**熊本県では岩崎と私(大岡)の2名のみ**しかいません。岩崎薬剤師は入職後すぐにチーム医療へ参加し、最前線で褥瘡ケアの実力を磨く傍ら、積極的な学会発表なども経験し、**何とほぼ最短の5年**で取得という快挙を成し



日本褥瘡学会
認定褥瘡薬剤師

認定証

岩崎 友里 殿

貴殿は日本褥瘡学会の所定の審査により認定褥瘡薬剤師として認定されたことを証する

認定師番号	第	959	号
認定資格取得日	2025年	9月	1日
認定師資格有効期限	2030年	8月	31日

2025年 9月 1日



一般社団法人
日本褥瘡学会
理事長 須釜 淳子
認定師認定
委員会委員長 漆館 聡志

遂げました。通常、薬剤師の専門資格は4～5年目頃から考え始める印象がありますが、本人の強い熱意と弛まない努力が成し得た結果となります。勿論、**現場を支える皆さんの協力と環境があってこそその成果**でもありますので、これからも変わらずご支援・ご協力をお願いできればと思います。

今後、地域包括ケアの更なる推進と共に、超高齢化社会という時代を見ていく中で、「褥瘡」はシームレスケアにおける重要な疾患の一つになります。その中でも薬剤師の褥瘡に対する積極的介入の有用性は年々増えており、以前まで創部の状態に応じた外用薬や創傷被覆材（ドレッシング材）の適切な選択提案を主としていた立ち位置から、今ではその治療薬の効果を最大限に引き出すための工夫として、患者の動的病態評価（創と骨突出部位の位置、創全体の形態、皮膚の移動方向、残存組織の状況、創辺縁の性状や肉芽の形態など）から薬剤滞留障害の可能性を徹底的にアセスメントし、実際の効果を随時評価しつつ治療期間を更に短縮させるだけでなく、褥瘡を発症する可能性のあるリスク薬剤、薬剤関連褥瘡などの把握や適正使用に向けた介入など、予防から治療にかけて幅広く関与しており、**褥瘡ケアのPDCAサイクルを回す唯一の原動力**とまで言われています。

今回の認定取得をまた新たなスタートとして、今後も更に知識を磨きながら現場の皆さんを支えていく中心的存在になってくれることを期待します！（私も頑張らないと；）。

DRUG SAFETY UPDATE

医薬品安全対策情報

—医療用医薬品注意事項等情報改訂のご案内—

編集・発行 日本製薬団体連合会
 〒103-0023 東京都中央区日本橋本町3-7-2
 FAX 03-6264-9455 E-mail dsu@jpmaj.gr.jp

当院採用薬品（院内）の使用上の必要な注意（重要抜粋）が改定されました。

- アジルサルタン00錠（アジルサルタン）
- イミダプリル塩酸塩錠（イミダプリル塩酸塩）
- イルベサルタン錠（イルベサルタン）
- オルメサルタン00錠（オルメサルタンメドキシミル）
- レザルタス配合錠HD（オルメサルタンメドキシミル・アゼルニジピン）
- カンデサルタン00錠（カンデサルタンシレキセチル）
- エンレスト錠（サクビトリルバルサルタンナトリウム水和物）
- テルミサルタン錠（テルミサルタン）
- ミカムロ配合錠AP（テルミサルタン・アムロジピンベシル酸塩）
- バルサルタン錠（バルサルタン）
- エックスフォージ配合00錠（バルサルタン・アムロジピンベシル酸塩）
- ロサルタンK錠（ロサルタン）
- アサコール錠、ペントサ錠・顆粒・坐剤・注腸、リアルダ錠（メサラジン）
- ヒュミラ皮下注ペン（アダリムマブ）
- アダリムマブBS皮下注ペン（アダリムマブ）
- オプジーボ点滴静注（ニボルマブ）
- メロペネム点滴静注用（メロペネム水和物）
- アザルフィジンEN錠（サラゾスルファピリジン）

⊗ アジルサルタン

214 血圧降下剤

改訂箇所	改訂内容
[11.1 重大な副作用] 一部改訂	血管性浮腫： 顔面、口唇、舌、咽・喉頭等の腫脹を症状とする血管性浮腫があらわれることがある。 また、腹痛、嘔気、嘔吐、下痢等を伴う腸管血管性浮腫があらわれることがある。

⊗ イミダプリル塩酸塩

214 血圧降下剤

改訂箇所	改訂内容
[11.1 重大な副作用] 一部改訂	血管性浮腫： 呼吸困難を伴う顔面、舌、声門、喉頭の腫脹を症状とする血管性浮腫があらわれることがあるので、異常が認められた場合には直ちに投与を中止し、抗ヒスタミン剤、副腎皮質ホルモン剤の投与及び気道確保等の適切な処置を行うこと。また、腹痛、嘔気、嘔吐、下痢等を伴う腸管血管性浮腫があらわれることがある。

⊗ イルベサルタン

214 血圧降下剤

改訂箇所	改訂内容
[11.1 重大な副作用] 一部改訂	血管性浮腫： 顔面、口唇、咽頭、舌等の腫脹を症状とする血管性浮腫があらわれることがある。また、腹痛、嘔気、嘔吐、下痢等を伴う腸管血管性浮腫があらわれることがある。

⊗ オルメサルタンメドキシミル

214 血圧降下剤

改訂箇所	改訂内容
[11.1 重大な副作用] 一部改訂	血管性浮腫： 顔面、口唇、咽頭、舌の腫脹等が症状としてあらわれることがある。また、腹痛、嘔気、嘔吐、下痢等を伴う腸管血管性浮腫があらわれることがある。

⊕ オルメサルタンメドキシミル・アゼルニジピン

214 血圧降下剤

改訂箇所	改訂内容
[11.1重大な副作用] 一部改訂	血管性浮腫： 顔面、口唇、咽頭、舌の腫脹等が症状としてあらわれることがある。 <u>また、腹痛、嘔気、嘔吐、下痢等を伴う腸管血管性浮腫があらわれることがある。</u>

⊕ カンデサルタンシレキセチル

214 血圧降下剤

217 血管拡張剤

改訂箇所	改訂内容
[11.1重大な副作用] 一部改訂	血管性浮腫： 顔面、口唇、舌、咽・喉頭等の腫脹を症状とする血管性浮腫があらわれることがある。 <u>また、腹痛、嘔気、嘔吐、下痢等を伴う腸管血管性浮腫があらわれることがある。</u>

⊕ サクビトリルバルサルタンナトリウム水和物

214 血圧降下剤

219 その他の循環器官用薬

改訂箇所	改訂内容
[11.1重大な副作用] 一部改訂	血管性浮腫： 舌、声門、喉頭の腫脹等を症状として、気道閉塞につながる血管性浮腫があらわれることがある。このような場合には直ちに投与を中止し、アドレナリン注射、気道確保等適切な処置を行うこと。血管性浮腫が消失しても再投与しないこと。 <u>また、腹痛、嘔気、嘔吐、下痢等を伴う腸管血管性浮腫があらわれることがある。</u>

⊕ テルミサルタン

214 血圧降下剤

改訂箇所	改訂内容
[11.1重大な副作用] 一部改訂	血管性浮腫： 顔面、口唇、咽頭・喉頭、舌等の腫脹を症状とする血管性浮腫があらわれ、喉頭浮腫等により呼吸困難を来した症例も報告されている。 <u>また、腹痛、嘔気、嘔吐、下痢等を伴う腸管血管性浮腫があらわれることがある。</u>

⊕ テルミサルタン・アムロジピンベシル酸塩

214 血圧降下剤

改訂箇所	改訂内容
[11.1重大な副作用] 一部改訂	血管性浮腫： 顔面、口唇、咽頭・喉頭、舌等の腫脹を症状とする血管性浮腫があらわれ、喉頭浮腫等により呼吸困難を来した症例も報告されている。 <u>また、腹痛、嘔気、嘔吐、下痢等を伴う腸管血管性浮腫があらわれることがある。</u>

⊕ バルサルタン

214 血圧降下剤

改訂箇所	改訂内容
[11.1重大な副作用] 一部改訂	血管性浮腫： 顔面、口唇、咽頭、舌の腫脹等が症状としてあらわれることがある。 <u>また、腹痛、嘔気、嘔吐、下痢等を伴う腸管血管性浮腫があらわれることがある。</u>

⊕ バルサルタン・アムロジピンベシル酸塩

214 血圧降下剤

改訂箇所	改訂内容
[11.1重大な副作用] 一部改訂	血管性浮腫： 顔面、口唇、咽頭、舌の腫脹等が症状としてあらわれることがある。 <u>また、腹痛、嘔気、嘔吐、下痢等を伴う腸管血管性浮腫があらわれることがある。</u>

⊕ ⊖ メサラジン 239 その他の消化器官用薬	
改訂箇所	改訂内容
[11.1重大な副作用] 追記	抗好中球細胞質抗体（ANCA）関連血管炎： 発熱、倦怠感、関節痛、筋痛等の全身症状や、皮膚（紅斑、紫斑）、肺（血痰）、腎臓（血尿、蛋白尿）等の臓器症状があらわれることがある。
⊕ ⊖ ロサルタンカリウム 214 血圧降下剤	
改訂箇所	改訂内容
[11.1重大な副作用] 一部改訂	血管性浮腫： 顔面、口唇、咽頭、舌等の腫脹があらわれることがある。また、腹痛、嘔気、嘔吐、下痢等を伴う腸管血管性浮腫があらわれることがある。
⊕ ⊖ アダリムマブ（遺伝子組換え） 399 他に分類されない代謝性医薬品	
改訂箇所	改訂内容
[11.1重大な副作用] 追記	自己免疫性肝炎
⊕ ⊖ アダリムマブ（遺伝子組換え）〔アダリムマブ後続4〕 399 他に分類されない代謝性医薬品	
改訂箇所	改訂内容
[11.1重大な副作用] 追記	自己免疫性肝炎
⊕ ⊖ ニボルマブ（遺伝子組換え） 429 その他の腫瘍用薬	
改訂箇所	改訂内容
[8.重要な基本的注意] 追記	〈効能共通〉 腫瘍崩壊症候群があらわれることがあるので、血清中電解質濃度測定及び腎機能検査を行うなど、患者の状態を十分に観察すること。
[11.1重大な副作用] 追記	腫瘍崩壊症候群： 異常が認められた場合には投与を中止し、適切な処置（生理食塩液、高尿酸血症治療剤等の投与、透析等）を行うとともに、症状が回復するまで患者の状態を十分に観察すること。
⊕ ⊖ メロペネム水和物 613 主としてグラム陽性・陰性菌に作用するもの	
改訂箇所	改訂内容
[11.1重大な副作用] 一部改訂	中毒性表皮壊死融解症（Toxic Epidermal Necrolysis：TEN）、皮膚粘膜眼症候群（Stevens-Johnson症候群）、急性汎発性発疹性膿疱症
⊕ ⊖ サラゾスルファピリジン 621 サルファ剤	
改訂箇所	改訂内容
[11.1重大な副作用] 追記	抗好中球細胞質抗体（ANCA）関連血管炎： 発熱、倦怠感、関節痛、筋痛等の全身症状や、皮膚（紅斑、紫斑）、肺（血痰）、腎臓（血尿、蛋白尿）等の臓器症状があらわれることがある。